

第1問

5 10 15 20 25 30

設問A

(1)台地の東部は、扇中央に位置するため水が得にくく、輸出用の生糸の生産に用いた蚕の餌を栽培する桑畑として、扇端より下流で、天龍川沿いの地域は、水が得やすく水田として利用されている。

5 (2)台地の東部では西天龍水路が建設され、水路より東側の低いところが、桑畑から食糧増産のための水田に利用されるようになった。

(3)台地は、中央自動車道の開通によって自動車輸送が便利になり、農地から加工組立て型工業の工場用地に、その東側の低地は、鉄道が通じており、駅周辺を中心に水田から住宅地に変化した。

10 設問B

(1)A－ツンドラ B－針葉樹林 C－落葉広葉樹林 D－常緑広葉樹林

(2)低緯度のため気温の年較差が小さく、冬季でも低温にならないうえ、乾季がないので季節変化に乏しく、植物が落葉しないため。

15 (3)森林は急峻な山地に多く分布し伐採コストが高いうえ、就業者の高齢化や若年層の流出に伴い労働力が不足するようになったため。

(4)以前は耕作放棄後も森林が再生していたが、焼畑の拡大や周期短縮が地力低下を招き、皆伐や大規模農園への転換も進んだため。

第2問

5 10 15 20 25 30

設問A

(1)Aーモロッコ Bー南アフリカ Cーナイジェリア

(2)A国は低賃金労働力を利用した工業製品を旧宗主国を含む近隣諸国に輸出し、B国は豊富な資源を世界の工業国に輸出している。

5 (3)石油依存が大きく、価格変動に国内経済が左右されるうえ、一部に利益が集中し、輸入品を購入できない貧困層が多くなっている。

(4)人口増加などによる市場の拡大と、貿易を通じた経済的影響力の強化を期待して、中国が安価な工業製品の輸出を増やしたため。

設問B

10 (1)(ア)ーたまねぎ (イ)ーまつたけ (ウ)ージャンボピーマン

(2)A国は低賃金労働力と広大な土地を背景に(ア)が大量生産され、より近距離にあるB国は鮮度が重要な(イ)の集約的栽培を進めたため。

(3)低緯度で温暖なメキシコは通年栽培が可能で、南半球のC国は日本と季節が逆になり、ともに日本の端境期に出荷が可能のため。

第3問

5 10 15 20 25 30

設問A

(1)ア-C イ-A ウ-B

(2)中小企業による軽工業が盛んであったAでは工場の移転や廃業に伴う雇用減少によって人口が減少し、都心に位置するCでは地価の高騰や住環境の悪化によって郊外への人口流出が進んだため。

(3)バブル崩壊後の地価下落で再開発が進み、人口が流入したため。

設問B

(1)A-④ B-① C-⑥ D-③ E-② F-⑤

(2)市区町村合併が進められ市区町村数が減ったことによる。

設問C

(1)大阪市は名古屋市より市域が狭いうえ、中枢管理機能の集積度が高く、住宅地開発が市外の遠隔地にも及び通勤圏が広がるため。

(2)都市圏の地価高騰に伴い、より遠い距離帯の地域で住宅地が開発され、主に核家族が流入し通勤者が増加したが、1995年以降は団塊世代の退職や就職・結婚による子供の独立で通勤者は減少した。